



Business Report

事業のご報告

2026年3月期 中間期

(2025年4月1日～2025年9月30日)

INDEX

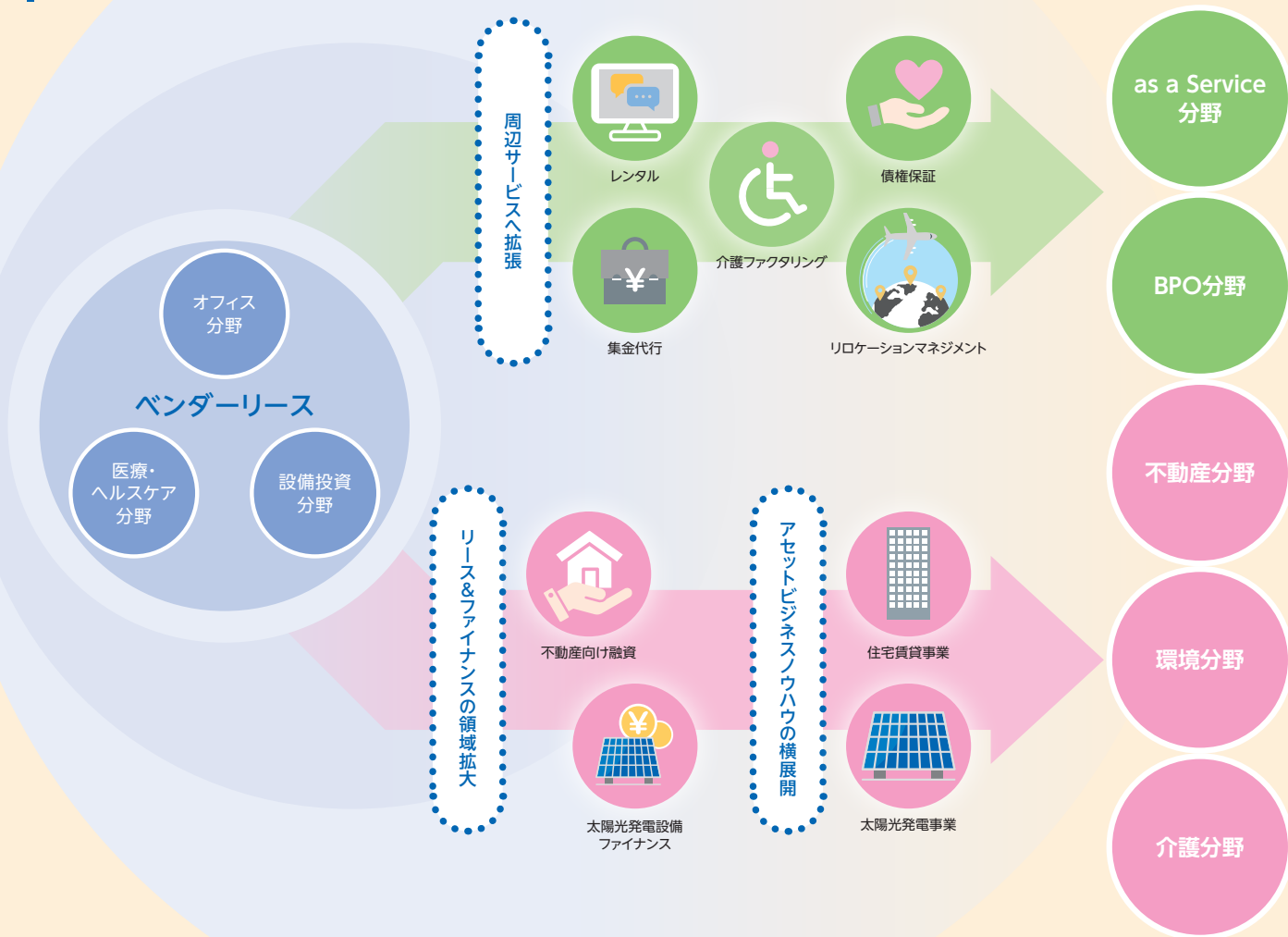
- | | | | |
|---|------------------------|---|--------------------------|
| 1 | リコーリースグループの
成長ストーリー | 5 | サステナビリティ経営 |
| 2 | 株主の皆様へ | 6 | 人事施策 |
| 3 | 連結業績のご報告 | 7 | IRひろば |
| 4 | 事業特集 | 8 | 会社情報・株式情報
紙面発送に関するご案内 |

リコーリース株式会社

[証券コード：8566]

リコーリースグループの 成長ストーリー

リコーリースグループはDNAであるベンダーリースを軸としたトランザクションデータ(取引データ)の活用により、周辺サービスへ事業を拡張してまいりました。また領域を拡大し、蓄積したノウハウの横展開を行うことで、地続きの変異を起こし成長を続けてまいりました。



事業を通じて社会課題を解決し、皆様とともに
豊かな未来への架け橋となる企業を目指します。



代表取締役 社長執行役員 **中村 徳晴**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。ここに第50期中間期(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の当社グループの現況をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間における業績につきましては、売上高は1,708億94百万円(前中間連結会計期間比11.2%増)、営業利益は111億6百万円(同2.6%減)、経常利益は113億91百万円(同2.0%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は62億57百万円(同24.4%減)となりました。概ね順調に推移していることから、通期予想は期初予想据え置きとしております。

中間配当金につきましては、「配当の累進性と業界トップクラスの還元水準を意識し、持続的な成長と適正な資本構成および財務体質の強化を図り、株主還元の拡充を目指す。配当性向は2026年3月期に40%以上、2030年3月期に50%を目安とする」という株主還元方針に基づき、期初計画どおり1株あたり90円とし、お支払日を12月1日とさせていただきます。期末配当金につきましても、1株

当たり95円とし、年間配当金は185円(前年比5円増配)を予定しております。

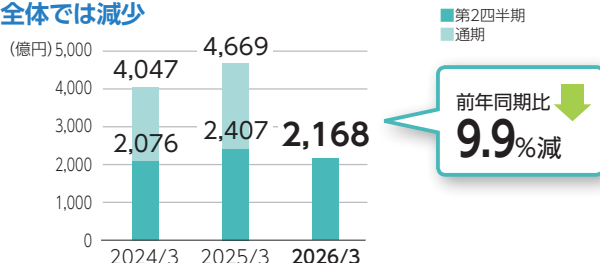
また、今上期におきまして、「豊かな未来積立金」制度を活用し、熊本県および鹿児島県の大雨災害ならびに静岡県および鹿児島県の台風災害に対して、合計700万円を寄付いたしました。株主の皆様のご理解・ご協力に深く感謝申し上げます。

当社グループに対しては、真面目で手堅い会社というイメージをお持ちいただいている方も多いと認識しております。そうした堅実さは当社グループのベースであり、今後とも変わらず大切にしていまいります。その上で、成長に向けた投資を着実にしながら、企業としての持続的な発展を目指してまいります。同時に、株主の皆様への分配も重視しており、特に配当については、累進性をできる限り継続していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

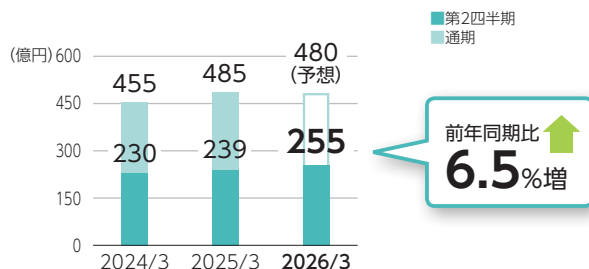
契約実行高

オフィス、設備投資、医療・ヘルスケア分野が好調だったが、前年大幅に実行高が増加した不動産分野の反動等により、全体では減少



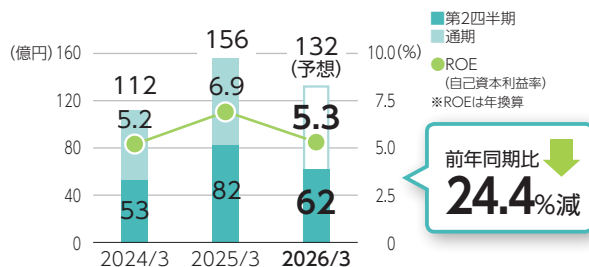
売上総利益

売上総利益は第2四半期において過去最高を更新



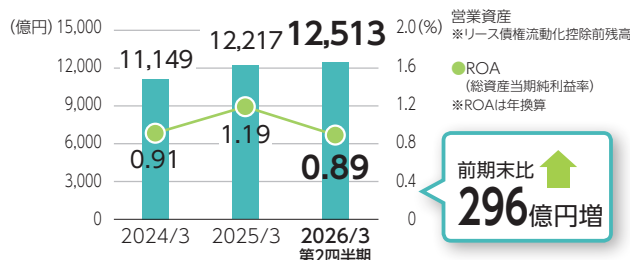
中間(当期)純利益／ROE

Welfareすずらののれん等の減損損失計上の影響で減益となるが、好調な業績により概ね吸収



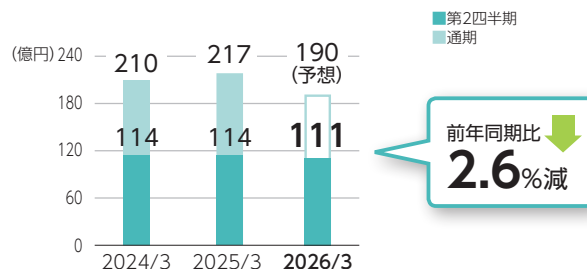
営業資産／ROA

リース&ファイナンス事業、インベストメント事業ともに営業資産を積み上げ



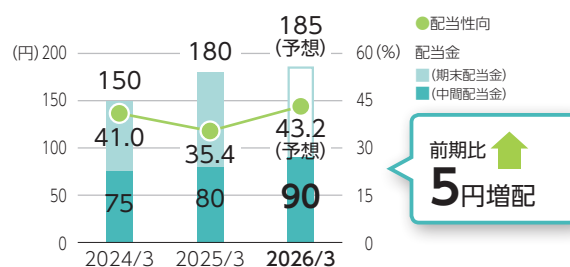
営業利益

資金原価、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は微減



配当金／配当性向

中間配当金は90円、年間配当金は期初予想から変更なく185円を予定



DXに特化した住宅型有料老人ホーム「MayLily(メイリリー)」2施設新規オープン

当社グループ会社のWelfareすずらんが、2025年7月に「MayLily徳重」(愛知県名古屋市の)、9月に「MayLily一宮あき」(愛知県一宮市)という住宅型有料老人ホーム2施設を新規オープンいたしました。「MayLily」の特徴は見守りロボットやVRリハビリ機器などDX設備を充実させ、サービス品質の向上を目指すとともに人手不足やスタッフの負担軽減を実現したこと、プライベート感を重視した空間設計とこだわりぬいた食事・アメニティにより上質な生活を提供することにあります。また、各施設固有の特徴として、「徳重」は女性専用、「一宮あき」は全居室が2階にある災害対策型となっております。

施設の開発で得たノウハウや市場への新たなサービスの提供を通じ、当社グループのマテリアリティの一つである「豊かな暮らしをつくる」を推進してまいります。

🔍 施設紹介動画：[MayLily徳重](#)、[MayLily一宮あき](#)



災害対応型施設「MayLily一宮あき」



居室内の様子

クリニックの省人化を実現する医療DXシステムの運用を開始

医療機関において、人材確保が課題となっていることに加え、物価や資材価格の高騰によりさまざまなコストが増加傾向にあり、生産性向上が急務になっています。そこで当社はデジタル技術を活用し、コストを抑えた経営に貢献することを目的に、医療機関における受付の省人化にフォーカスしたシステムの運用を開始しました。

当システムは、受付の省人化にフォーカスし、予約～来院～受付～会計(キャッシュレス)が一つのQRコードで完結いたします。また、「省人化を可能にする遠隔接客」と「セキュリティを担保する防犯・入退室管理」を軸に構築し、予約システム、電子カルテ、自動精算機をシームレスに連携させることで、受付の省人化を実現しております。

本システムにより、生産性向上および患者様の利便性向上に貢献し、更なるブラッシュアップを図りながら、さまざまな医療機関への提供を目指してまいります。



読み取り機にQRコードをかざして受付

サステナビリティ経営

当社グループは事業を通じた環境・社会・ガバナンス(ESG)に取り組むサステナビリティ経営を推進しています。
当社グループの取り組み内容を一部ご紹介いたします。

防潮林再生に向けた海岸緑化活動の実施

2025年6月、当社グループ役員・社員総勢18名が、(公社)国土緑化推進機構と連携した釣ヶ先海岸(千葉県長生郡)の防潮林再生のための海岸緑化活動を実施しました。本活動は「豊かな未来積立金[※]」制度を活用し、2011年に発生した東日本大震災による津波で甚大な被害にあった海岸防潮林の整備を目的としています。当日は、社長の中村をはじめ参加者が一丸となり、下草刈り作業に励みました。



海岸緑化活動に参加した中村社長と当社グループ社員

※ 豊かな未来積立金：決算期ごとに当期純利益から年間配当額を差し引いた金額の1%を積み立て、当社グループの経営理念・中長期ビジョン実現を目指した寄付や協賛、および地震や自然災害支援を実施する制度

「自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)」への取り組み

2025年4月、当社グループは「自然関連財務情報開示タスクフォース(TNFD)」の理念に賛同し、その活動を支援するTNFDフォーラムに参画しました。当社の事業活動と生物多様性との関連性を適切に把握・評価するため、TNFDが推奨するLEAPアプローチに基づく分析を行い、段階的に情報開示を進めています。詳細は統合報告書2025をご覧ください。



※ TNFD：企業が自然資本への依存・影響を評価し、開示するための国際的枠組み
※ LEAPアプローチ：自然との接点を「発見→診断→評価→準備」の4ステップで体系的に分析する手法

🔍 統合報告書2025：https://www.r-lease.co.jp/sustainability/integrated_report/

社員の幸福を会社業績拡大につなげるため、働くことに誇りを持てる会社風土の醸成や、働きやすい職場環境の推進といった人事施策を展開しています。

社内提案制度「Mirai Creation」

当社は、2021年より社内提案制度「Mirai Creation」の運用を開始しました。当制度は、経営理念に掲げる「豊かな未来」実現に向け、新規事業提案を全社員が直接経営陣へプレゼンテーションできる仕組みです。採用された提案については、応募者自身がプロジェクト推進者として参画します。

2024年度からは、新規事業創出に強みを持つ協力会社と連携し、研修や伴走支援などを制度に組み込むことで、応募者とともに事業化を目指す支援体制を整備しました。2024年度は、58件の応募の中から4件が最終審査に進みました。

当制度を通じ、当社グループの強みである「人財」を活かし、社員一人ひとりが「個」の力を発揮することで、既存の事業領域にとらわれない新たな視点を経営に取り込み、サステナブルな循環社会の実現に貢献していきます。



二次審査の様子



経営層へ答申する最終審査

LGBTQ+への取り組み

6月のプライド月間※に当社のLGBTQ+への取り組みとして、一団体の活動に賛同し、「Tokyo Pride 2025 Pride Parade」に参加いたしました。当日は役員・社員総勢11名がパレードに参加し、レインボーなどのプライドフラッグを手に「ハッピープライド!」と沿道の方に声をかけながら歩きました。

また、併せて当社HPに「LGBTQ+に関する情報ページ」を新設いたしました。全ステークホルダーにLGBTQ+の方々への理解を深めていただくことを目的として、基本的な知識に加え、当社グループの考えるLGBTQ+について掲載しております。

※プライド月間：毎年6月に世界中で開催される、LGBTQ+コミュニティの権利を啓発し、多様性を尊重するための月間のこと



Pride Paradeに参加した役員・社員

 LGBTQ+に関する情報ページ：<https://www.r-lease.co.jp/sustainability/happiness/diversity/promotion/lgbtqplus/>

IRひろば

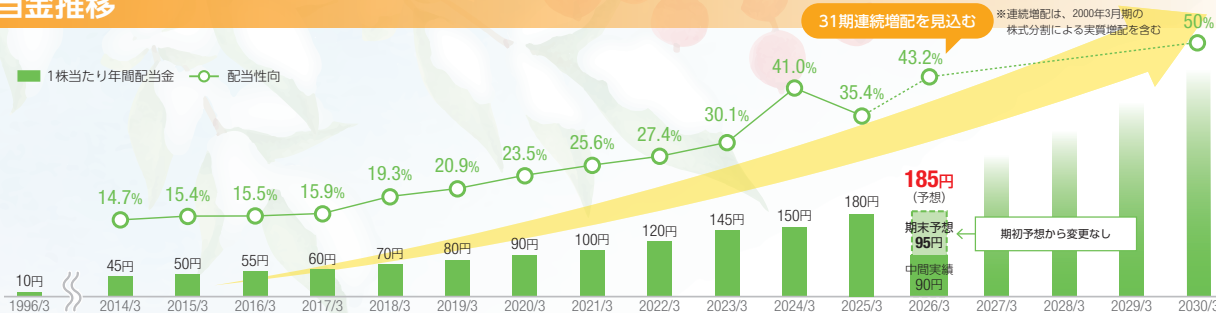


リコーリースの株主還元について説明するページです。

株主還元基本方針

配当の累進性と業界トップクラスの還元水準を意識し、持続的な成長と適正な資本構成および財務体質の強化を図り、株主還元の拡充を目指す。配当性向は2026年3月期に40%以上、2030年3月期は50%を目安とする。

配当金推移



株主優待制度のご案内

保有株式数 ^{※1}	保有継続期間 ^{※2}	優待品
100株以上 300株未満	1年未満	2,000円相当
	1年以上 3年未満	4,000円相当
	3年以上	5,000円相当
300株以上	1年未満	5,000円相当
	1年以上 3年未満	8,000円相当
	3年以上	10,000円相当

QUOカード

カタログギフト^{※3}

保有株式数を
増やすと
カタログギフトに
ランクアップ！



カタログギフトから「寄付コース」を選択していただくと
日本赤十字社に寄付されます。

※写真の商品は変更になることがあります。

※1 割当基準日(3月末日、年1回)における保有株式数。 ※2 2022年以降、9月末日の保有確認は100株以上の保有を条件としております。

※3 食料品や雑貨、QUOカードなどからお好きな商品を選べます。

社会貢献型株主優待制度もあります

翌年3月までに
優待品をご利用いただくことで、
株主の皆様も社会貢献活動に
ご参加いただけるしくみです。

ご使用額に基づき
算出した金額を
リコーリースの負担で
「緑の募金」などへ
寄付します



会社情報・株式情報

会社概要 (2025年9月30日現在)

商 号 リコーリース株式会社
(RICOH LEASING COMPANY, LTD.)
資 本 金 7,896百万円
上 場 市 場 東京証券取引所 プライム市場 (証券コード:8566)
従 業 員 1,671名 (連結)
設 立 1976年12月

グループ会社

テクノレント株式会社 株式会社Welfareすずらん
エンプラス株式会社 東京ビジネスレント株式会社

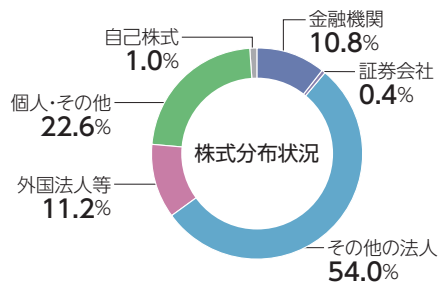
株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数
120,000,000株

発行済株式の総数
31,243,223株

株主数
64,197名
(議決権を有する
株主数 48,901名)

単元株式数
100株



株主メモ

- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 電話照会先
☎ 0120-782-031 受付時間9:00～17:00(土日休日を除く)
- 郵便物送付先
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関する住所変更などのお届出 およびご照会について

証券会社に口座をお持ちの場合

➡お取引の証券会社にお申し出ください。

特別口座の場合

➡左記三井住友信託銀行にお申し出ください。

紙面発送に関するご案内

地球環境に配慮した省資源化の観点や、株主総会資料、決算説明資料、統合報告書などとの内容の重複を考慮し、紙面による『事業のご報告』の発行は2024年3月期をもって廃止しております。

期末決算期は定時株主総会招集ご通知に統合して『事業のご報告』の発行を取りやめ、中間決算期は電子化による発行とさせていただきます。

<https://www.r-lease.co.jp/ir/library/report/>